

神社の社(三十一)

御嶽ヒシターセンター

片柳 茂生

月の御岳山

一年中で最も月が美しいと言われているのが中秋の名月でございますね。風に揺れるスキの穂との相性など最高でございます。この中秋の名月を御岳山から眺めるとまた格別なでございます。この月を見れば、昔から当地を「月の御岳」と称していたのも頷けるというものです。そんなわけで今回は、御岳山での月見についてご紹介したいと思います。

月と言えば九月ですね。中秋の名月はもちろんのこと、他にも満月ではございませんが立待月、居待月、臥待月など風流な呼び名の月が歳時記にはたくさん載っております。特に中秋の名月はほんとに綺麗な月でございます。この月を見るにはやはり神社が良いでしょう。南東の空にまん丸で透き通ったように輝きはなつた月を見るのもよし、また杉の大木の幹や梢に見え隠れする月なんていうのも風情があつて良いものがございます。長尾平から見ますとまたちよつと違つた雰囲気が感じられます。神秘的な月とでもいうので

しょうか、じつと眺めておりますと吸い込まれてしまふ、そんな感じが致します。昇りはじめの赤く大きい月、そして傍らで鳴くカントンなど虫の声に促されて月は次第に透明感を増し天空に輝く、こんな光景があなたを魅了することでしょう。

満月とは反対の三日月、これもまた見る価値があるものがございます。但しこれこそ見る場所を限定させて頂きましょう。時期は十一月初め、時間は午後六時頃、場所はケープル御岳山駅からほど近い鳥居付近、これらの条件を満たせばそれこそ格別の三日月が見られるのです。鳥居付近から



は、正面に神社、その右に三角形をした形の良い山奥の院が望めます。薄暮の中、奥の院は黒くシルエットとなり、空はまだ群青色を帯び暗闇の世界になる一歩手前です。その中で三日月は奥の院の上に厳かに輝いて見えるのです。話は変わりますが、御岳山から日の出山に向かう途中に、「月待ち岩」という場所があります。岩の前はテラスになっており、そこから神社、奥の院、大

岳山そしてそこから連なる馬頭刈尾根、さらには遠く丹沢の山々まで望めます。その昔修験者達は、この岩の頂上で、山の稜線から昇る月を愛で、そしてこれからの道中の安全を祈願したのではないのでしょうか。自宅付近で月を愛でるのも良いでしょう。でも空気の澄んだ御岳山で見る月は更に美しく見えることでしょう。あなたも、月の御岳で月見酒と洒落てみてはいかがでしょうか。

表紙写真

センブリ

科名 リンドウ科
属名 センブリ属
分布 日本全土

センブリ(千振)は日本固有の薬草で、またトウヤク(当薬)ともよばれています。センブリは室町末期に民間薬として利用されはじめ、胃薬はもとより殺虫剤、目薬としても使用されていきました。薬草としての効能もさることながら、白い小さな花は観賞する人の心も和ませてくれる事でしょう。

あとがき

本年の夏は雨が多く、被災された方も大勢おられ心よりお見舞いを申し上げます。諸外国に比べ水は豊富でその恩恵は計りしれません。八王子根付を深く感じます。八王子根付中野御嶽講講元の野嶋様、ピシターセンター片柳様には、玉稿をありがとうございます。

平成二十年九月二十九日発行
〔年二回発行・非売品〕
編集 武蔵御嶽神社

印刷 株式会社印刷
TEL 0426(7) 8500
FAX 0426(7) 9500